

# 神児研TIMES

2026

5

VOL.19

神児研は「しんじけん」と読みます。神奈川の社会的養護関係施設の横のつながりの深さを活かした研修・調査・交流・行事等の事業を運営委員会を主体として実施しています。神奈川県・横浜市・川崎市・相模原市・横須賀市所管の児童養護施設・乳児院・児童自立支援施設・児童心理治療施設・自立援助ホーム等の職員の団体です。

今回の施設紹介は、「横浜中里学園」です



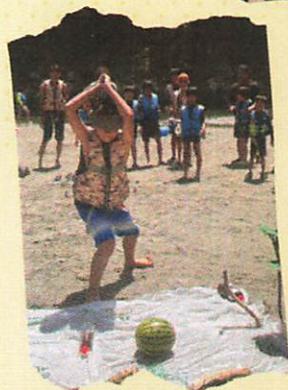
横浜中里学園は横浜市青葉区にある児童養護施設です。横浜家庭学園と同じ幼年保護会が運営する施設になります。平成29年に開所したばかりの施設です。A棟・B棟・C棟があり、2歳から18歳の児童が年齢や性別に応じて各ユニットに分かれ生活しています。児童の生活支援だけでなく多様な支援を行えるよう、心理療法士・ファミリーソーシャルワーカー・栄養士が常駐しており、横浜中里学園独自のプログラムを実施しています。また、平成31年より横浜中里学園内に「児童家庭支援センターみたけ」を開設し、横浜市青葉区を中心に、お子さんや家庭に関する心配ごとなど、専門の相談員や心理士が相談に応じています。



## 横浜中里学園の自慢①

毎月一回の誕生日会、学園全体の外出や行事を通じて性別・年齢の垣根を越えて交流をし、全員で楽しく過ごしています。調理員さんの手作りの食事や誕生日にはリクエストメニューを作り、美味しく嬉しい食事作りを心掛けています。

それぞれの棟では外出やユニット別旅行、招待行事に参加をして子どもたちと楽しい思い出を作っています。



## 横浜中里学園の自慢②

卓球大会、水泳大会、野球大会、駅伝大会、送別マラソン大会、あすなろ交歓会など文体行事には積極的に参加をしています。

## 横浜中里学園の自慢③

令和7年度は新潟県妙高市の国立妙高青少年自然の家にてスキーや雪遊びの体験を兼ねて2泊3日の全体旅行に出かけました。

児童だけでなく、職員も法人交流会にて施設の垣根を越えた交流会を実施して職場内外での連携を深めています。



## 副会長の交代がありました!

今年度より副会長になりました。白十字会林間学校の小又です。

毎年委員の交代が多くある中でも、今までは皆さんに甘えながら伸び伸びとやって来ましたが、気付けば引っ張っていく側になっていました。これまで以上に、神奈川の横の繋がりやこの活動がもっと知られ、広がっていくように精一杯頑張りたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度より副会長（研修委員会所属）を拝命いたしました、新日本学園の伊東敬祐と申します。運営委員となって3年目に入ります。

神児研の研修は神奈川県横のつながりを感じられる研修、時代に即した研修、明日から使えるスキルが身につく研修を意識しています。多くの神児研会員の皆さんにご参加いただけたら嬉しいです。

研修委員会メンバーはそれぞれの所属施設で役割があり、業務の合間を縫って日々連絡を取り合い「神児研研修」を組み立て実施しています。そんな研修委員会を副会長として、作業内容を円滑に、わかりやすく、負担を大きくすることなく、そして和気あいあい楽しく、をモットーに支えていけたらと思っています。よろしくお願いいたします。

発行：神奈川県児童福祉施設職員研究会（神児研：しんじけん）  
〒211-0035 川崎市中原区井田3-16-8  
川崎市こども心理ケアセンターかなで内  
電話 044-751-3223  
ホームページ <https://shinjiken.p-kit.com/>

